

これが 公民館報

第323号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,937	世帯
人口	4,435	人
男	2,143	人
女	2,292	人

(令和元年7月1日現在)

第15回

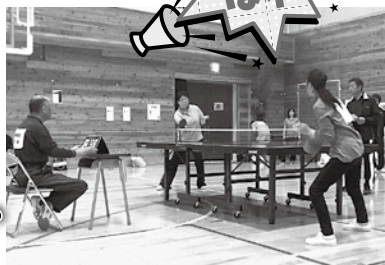
四賀地区球技大会開催

異例の暑さの5月に熱戦！
暑さに負けない参加者のプレー！

●第15回四賀地区球技大会 結果●

競技種目	ブロック	優勝	町会
ソフトバレーボール	第Aブロック	IKARI A	井 刈
	第Bブロック	反 町	反 町
ソフトボール	Aブロック	井 刈	井 刈
	Bブロック	おちみず	落 水
	Cブロック	赤怒田町会	赤 怒 田
	Dブロック	刈 谷 原 町	刈 谷 原 町
ゲートボール	1コート	横 川 桜 会	横 川
	2コート	執 田 光	執 田 光
	3コート	藤 池	藤 池
	4コート	穴 沢 A	穴 沢
	5コート	井 刈 B	井 刈
	6コート	板 場 絆	板 場
	7コート	西 宮	西 宮
ラージボール卓球	第1ブロック	刈 谷 原 A	刈 谷 原 町
	第2ブロック	原山Aチーム	原 山
マレットゴルフ	福寿草・赤松Aブロック	横 川 A	横 川
	福寿草・赤松Bブロック	板 場 A	板 場
	菅ノ田・松茸Cブロック	ほんまち A	本 町
	菅ノ田・松茸Dブロック	両 瀬	両 瀬

5月というのにまるで真夏のような気候の5月26日(日)、四賀地区内各会場で令和初の四賀地区球技大会が行われ、5種目の競技に暑さを吹き飛ばすかのような熱戦が繰り広げられました。



第34回 四賀コンサート
令和元年
9月7日(土)
午後4時30分開演
(開場4時00分)
会場…四賀小学校体育館
チケット…500円(中学生以下無料)
(お問い合わせ)
TEL: 0263-64-3112

四賀コンサート実行委員会事務局 (四賀公民館内)

分校跡からさらに登った先に「戸土境の宮諏訪神社」があります。古来から諏訪大社の御柱の前年の未年に「式年雑鎌打ち神事」が行われます。国境いの神木に雑鎌を打ちこむという神事で、信濃の国の平安を祈るものとのこと。前回打ちこまれた三本の鎌を見ることができました。

小谷村観光連盟の小島優治さんが合流し、案内をしていただきました。戸土は糸魚川市の根知から長野県方面に向かい、小谷三山を近くに臨む現在無人の集落。ここにあった小谷小学校戸土分校は長野県で唯一海の見える学校でした。

六月二十一日(金)に小谷村の戸土地区にウォーキングで訪れました。参加は30人でバスの定員一杯でした。道中は北アルプスの雪形などの案内を講師の横内文人さんに説明してもらいながら進みました。



小谷村 ウォーキング

第15回

四賀地区 福祉の集い

講演 中島誠之助さん



六月十六日(日)ピナスホールで「第十五回四賀地区福祉の集い」が開催されました。オープニングステージは会田中学校吹奏楽部が、若々しい演奏を披露してくれました。

開会の言葉に続いては感謝状授与式があり、松本市社会福祉協議会感謝状が地元ボランティア団体「さくら農会」、四賀地区社会福祉協議会感謝状はハンドベル演奏の「スワンキャンベル」と踊りの「おひさまレディーズ」の二組に授与されました。受賞者を代表し「さくら農会」の小口邦広さんが挨拶をされました。

来賓祝辞の後、休憩をはさみ講演が行われました。今回の講演はテレビの「開運！な

んでも鑑定団」でおなじみの古美術鑑定家でエッセイストの中島誠之助さんでした。テレビで拝見すると同じく軽妙な語り口で「目利きの人生談義」を語っていただきました。

長寿番組の「開運！なんでも鑑定団」が始まった時はこんなに長く続くとは思わずにいた。当時古美術は偽物、だまされるものという感覚だったが、今は「見てくれ。売れるかな」と言われる。古物商も「生活権の侵害だ」から「相場をつくってくれるから応援する」に変わったと話されました。

鑑定については、若い時に感性を高めなければならぬ。そのためには良いものに触れること。芝居、音楽、小説、絵画など全てに感動し、それについて知識を得る。「感動という土台に知識の家を建てる」ことが重要で、例として、萩原碌山の作品に感動し、幾度も碌山美術館を訪れて知識を深め、知見を高めていることを挙げられました。

中島さんの決め台詞「いい仕事していますね」は誰でも言われたい言葉ですね。

大きな拍手で講演は終わり、毎回恒例の「花鉢プレゼント抽選」が行われ、今年の福祉の集いは終了しました。

令和元年度 四賀地区地域づくり協議会総会

5月27日、四賀支所303会議室で「四賀地区地域づくり協議会」の総会が開かれました。まず新規加入者、団体が報告され、続いて昨年度の事業報告と決算報告、会計監査が協議、議決されました。また、今年度から役員が一部変更となり、協議、議決され、今年度の事業計画と予算についても協議、議決され、今年度の活動が始まりました。

四賀地区地域づくり協議会は、地区住民の皆さんを主体とした活動です。協働して「安心していきいきと暮らせる住みよい地域社会」を目指し、実現できるよう、ご協力をお願いいたします。

松本消防協会ポンプ操法大会



四賀地区から 2分団が出場

七月七日(日)に塩尻市中央スポーツ公園で行われました。松本市の大会で小型ポンプの部で優勝した二十八分団(五常)と同じく準優勝の二十六分団(中川)が出場しました。

選手たちは全力疾走をし、的確に放水しました。

結果は、二十八分団が敢闘賞(三位)に輝きました。

この経験を今後の消防団活動に活かしていきたいと思えます。

社会福祉協議会四賀センター サマーチャレンジ

手すき 和紙づくりに挑戦!!



7月7日(日)に小学生を対象としたサマーチャレンジが行われ飯山市の手すき和紙工房等を訪れ、1~5年生までの50人が手すき和紙づくり等を体験しました。

紙すき和紙づくりでは、高学年が低学年を助け、世界で1枚だけのはがきが出来上がりました。大聖寺の座禅体験では、10分間の集中と静寂を体験しました。

湧き水

▼今年冷夏と言われ、さらに日照時間が少なく、野菜や米の生育が危ぶまれているという。

▼今朝のラジオからは、アラスカの気温が平年より10度高いとも言っていた。そして、ヨーロッパは熱波。台風が増え、日本は梅雨ではなく、まるで亜熱帯地方の雨季のようだ。

▼世界のどこもがちぐはぐな環境になってしまったのは、環境破壊によるものだろうか。大手メーカーがプラスチックストローをやめ、紙製にした。海のプラスチック問題だ。日本が誇る自動販売機。その中のペットボトルや缶はこれから何に変化するのだろうか？

▼世界を旅すると、その国のスーパーや店には包装されていない食べ物を見かける。プラスチックトレイなどない。購入すると持参した買い物籠に入れていくか、そのまま。日本の昔の風景のような現実が今の外国にある。

▼過剰包装、プラスチック製品をやめ、鍋や容器を持参して買い物をする。豆腐屋の合図が聞こえたら鍋を持って追いかけたように。それでいいんじゃないかと私は思う。